



第55号

令和2年1月1日
《発行》公益社団法人
東広島市シルバー人材センター〒739-0015
東広島市西条栄町9番18号
TEL(082)426-4683
FAX(082)426-4684

東広島市シルバー

検索

新年明けまして
おめでとうございます



龍王山総合公園（黒瀬町）からの眺望

公益社団法人 東広島市シルバー人材センター 安全標語

まあいいか 心の緩みが 事故招く

西条町 中本克己

【事務局】	監理	監理	理	理	理	理	理	理	理	理	理	理	【役員】
職員	事事	事事	事事	事事	事事	事事	常務理事長						
職員	貴名	石田	中田	三原	秦	地山	大島由美子	石井	小林	三好	楓永	木原	副理事長
一同	茂雄	俊彦	澄彦	博明	純子	一志	星勝	忠教	英明	里美	里美	哲弘	副理事長

安全対策委員会
事業部会
各部会・委員会
総務部会
辰也

本年もよろしく
お願い申し上げます

新年のご挨拶



理事長

山本辰也

新年明けましておめでとうございます。

会員の皆様をはじめ、シルバー人材センターに関係の皆様には、お健やかに新春をお迎えのこととお喜びを申し上げます。

また平素からセンターの活動・運営につきましてご協力とご支援をいただきております。まことに、心から感謝とお礼を申し上げます。

昨年は、元号が平成から令和へ変わり時代の転換期を実感させられる年となりましたが、国においても少子高齢化の更なる進展や超高齢社会の到来を踏まえて、高齢者の社会参加・就労促進を最重要課題として取り組んでおります。

このように高齢者の労働力としての拡大が強く求められる中、就業を通じて高齢者の福祉の増進に資するセンター事業の重要な

性とセンターに対する地域社会の期待は一層大きなものとなっております。

しかし一方では、国の進める高齢者の就労促進に伴い、新規会員の減少や入会時の年齢の上昇等により、年々会員の平均年齢は上昇しており、近い将来センター 자체も転換期を迎える時が来るのではないかと危惧しております。

そのような将来も見据えつつ、今年は次の2点を重点目標として取り組みたいと考えております。

1点目は、女性会員数の増加を含めた会員の増加と退会の抑制です。

会員拡大に当たっては、女性や団塊の世代などターゲットを明確にして働きかけをしていきたいと考えております。

結びに、皆様方にとりまして今年1年が健康で幸せいに満ちた1年となりますことを祈念いたしまして、年頭に当たつてのご挨拶とさせていただきます。

に応じた新たな就業の場の開拓、そして公平な就業機会の提供に引き続き努めてまいります。

2点目は、安全・安心就業の徹底です。安全・安心就業については、全国的にセンターにおける課題であり、会員の高齢化に伴いより一層の対策が必要になりますが、今年は特に安全就業基準の遵守を会員の皆さんのお自觉のもとに進めてまいります。

今年は当センターが設立して30年という節目の年で、センターの30年を振り返り、更なる飛躍に向けて「設立30周年記念事業」を実施する予定です。

高齢者を取り巻く社会情勢の変化を考えますと、今後も多くの課題に直面する」とが想定されますが、一層のご支援・ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



新年のご挨拶



東広島市長

高垣廣徳様

新年明けましておめでとうございます。

会員の皆様におかれましては、輝かしい新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。

また、日ごろから、会員としての活動に加え、積極的な社会貢献活動を通じまして地域社会の各方面で幅広くご活躍いただいていること、あらためまして心からお礼申し上げます。

さて、わが国では少子高齢化の進展に伴い、現役世代の労働力不足が社会問題となつており、それを補うためにも、働く意欲のある高齢世代が活躍し続けることのできる「生涯現役社会」の実現が大変重要となつております。

このよう中、貴センターは「自主・自立・共働・共助」の基本理念のもと、会員

の皆様の経験や知識を活かせる多様な就労機会を提供されておられますことは、高齢者の生きがいづくりの充実、社会参加の促進につながるとともに、地域社会の「支え手」の拡大、ひいては、地域活性化の大きな力となるものと考えております。

人生における3つの居場所（第一の居場

所「家庭」、第二の居場所「学校、職場」、第三の居場所「趣味、社会活動」）のうち、第三の居場所の一つとして、シルバー人材センターは大変重要な存在であるとともに、「生涯現役社会」の実現に向け、今後、シルバー人材センターの役割は、ますます重要度が増してまいります。

今年、貴センターは、設立30周年という大きな節目の年を迎えられます。これを契機にさらなるエンブロイアビリティ（雇用され得る能力）の向上と柔軟な働き方の仕組みづくりを構築し、地域に根差した事業活動の積極的な展開を行っていただきますよう期待しております。

本市といたしましても、シルバー人材センターの活動の必要性、重要性に鑑み、引き続き活動を支援してまいりたいと存じます。

結びに、会員の皆様のご健康とご活躍並びにシルバー人材センターのますますのご発展を祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

ンターの活動の必要性、重要性に鑑み、引き続き活動を支援してまいりたいと存じます。

新年のご挨拶



東広島市議会議長

乗越耕司様

新年明けましておめでとうございます。

東広島市シルバー人材センターの皆様、また会員の皆様には、令和2年の輝かしい新春をお迎えのことと、謹んでお慶び申し上げます。また、貴センターにおかれまして



は、平素から会員の皆様の社会活動を通じて、地域社会の活性化に御尽力を賜り、厚く御礼を申し上げます。

さて、昨年の総務省の調査によりますと、我が国の総人口は減少している一方、

高齢者の人口は増加し、総人口に占める高齢者の割合は世界でもっとも高く、過去最高となつております。また、高齢者の就業者数や、就業者に占める高齢就業者の割合も過去最高で、日本の高齢者の就業率は世界でも高い水準にあるといわれております。

近年は、少子高齢化等で労働力が不足する中、こうした就業意欲も高く、豊かな知識や永年の経験を活かし地域社会への貢献を望む高齢者の方々が増えておられますことは、企業の人材不足解消、更には豊かで活力ある地域社会の実現に期するためにも、大変意義深いことと存じます。

こうした中、貴センターでは、「自主・

自立、共働・共助」を基本理念に掲げ、高

齢者が共に働くことで社会参加し、生きが

いを得るだけでなく、日常的なボランティア活動等、様々な事業活動に積極的に取り組まれており、こうした皆様の熱意と活動に対しまして敬意を表する次第でござります。

今後も、高齢者の方々が、年齢に関わりなく生涯現役で生き生きと働くことができることの実現に向けて、貴センターの活動に対しまして大いに期待いたしますとともに、皆様方のより一層のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

結びに、東広島市シルバー人材センターの今後ますますの御発展と、会員の皆様の御健勝、御活躍を心より祈念申し上げまして、新年のご挨拶といたします。



令和元年6月20日・21日 東京中野サンプラザにて開催



乗越市議会議長（右）に要請



高垣市長（左）に要請

東広島市長・市議会議長 要請活動

昨年11月、政府がまとめた「経済政策の方向性に関する中間整理」においても「シルバー人材センターの機能強化、求人先とのマッチング機能の強化など、働きやすい環境を整備する」とされており、令和元年6月「生涯現役社会」を実現するシルバー人材センターの決意と支援の要望が、全国シルバー人材センター事業協会の令和元年度定時総会において可決承認されました。

これに基づき、8月27日に理事長をはじめ15名の役職員で高垣市長、また7名で乗越市議会議長に対して要請活動を行いました。

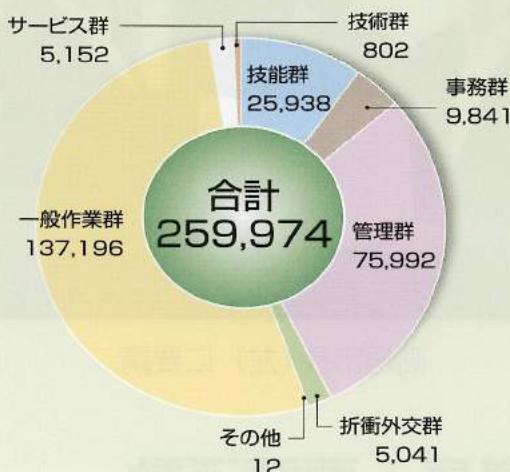


職群別事業実績（上期）

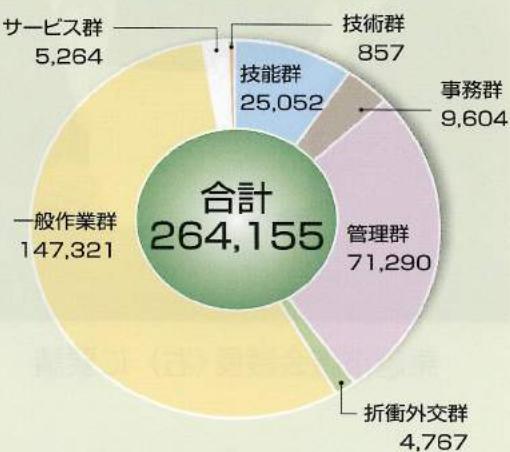
(単位:千円)

(4月～9月)

平成30年度



令和1年度



公共・民間別事業実績（上期）

(単位:千円)

平成30年度

契約金額

公共	112,793
民間企業	75,547
一般家庭	71,634
計	259,974

令和1年度

契約金額

公共	119,050
民間企業	70,466
一般家庭	74,639
計	264,155

派遣事業状況（上期）(4月～9月)

平成30年度

令和元年度

受注件数(件)	就業延人員(人日)	契約金額(千円)
32	5,215	30,945

受注件数(件)	就業延人員(人日)	契約金額(千円)
34	5,740	36,748

地区別会員数の推移 (単位:人)



	西 条	八 本 松	高 屋	志 和	黒 瀬	安 葿 津	豊 栄	福 富	河 内	合 计
R01/9末計	286	156	227	29	150	69	112	31	56	1,116
H30/9末計	298	153	212	31	157	70	120	29	54	1,124
H29/9末計	290	158	211	33	165	71	117	27	51	1,123



中国ブロックシルバー人材センター連合協議会 役職員交流研修会報告

9月25日・26日の2日間、広島市で開催され、試みとして今回は初めて役員・職員合同で開催されました。

1日目は「シルバー人材センターへの期待と今後の方向性」について、厚生労働省職業安定局高齢者雇用対策課の喜多見課長補佐のご講演があり、その後、広島市シルバー人材センター、宇部市シルバー人材センターの事例発表、2日目は

「シルバー人材センターの現状と課題」について、全国シルバー人材センター事業協会の今野事務局長の講演がありました。

各拠点シルバーの話を聞いている中で、どの拠点も会員拡大については苦労されている中、入会説明会の簡素化・専用窓口の設置、新聞への広告掲載など様々な取り組みをされていました。

当センターにおいても公共施設への広報の配布、月1回しか実施していなかった入会説明会を随时受付に切り替え、説明会当日の入会登録を可能にするなど会員拡大に努めています。

これからはシルバー人材センターへの期待が増していく中で、会員拡大は必要不可欠であり、今回の研修で学んだ事をどう結果に結び付けていくか、役職員一同で取り組んでいきたいと思います。



普及啓発活動

「シルバーの日」ボランティア活動

シルバーカー事業の普及啓発促進活動、並びに会員の社会参加活動及び相互の連携を深めることを目的として、毎年10月第3土曜日を「シルバーの日」と定め、全国一斉に社会奉仕活動を実施しております。

今年は、あいにくの空模様にて、第4土曜日に延期されましたが、8ヶ所総勢104名の会員・役職員の参加がありました。



高美が丘地域センター



八本松地域センター



川上地域センター

普及啓発活動**黒瀬町健康福祉まつりに参加**

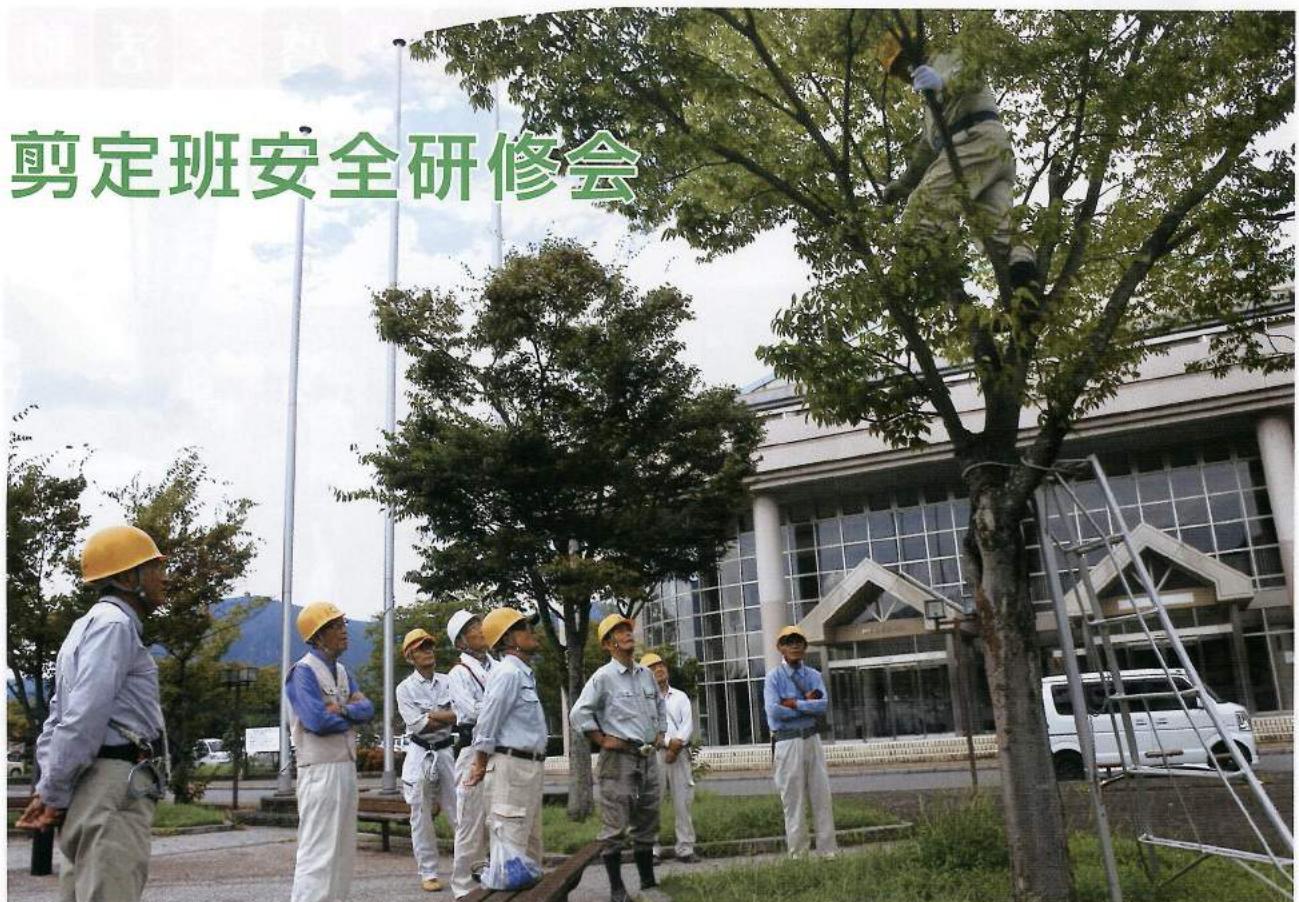
令和元年10月27日に黒瀬生涯学習センターで開催された第27回黒瀬町健康福祉まつりに、当センターが初めて参加いたしました。ありがたいことに、初参加ながら数多い屋外ブースのほぼ中央にテントを立てさせて頂くことができました。

テントの中は、シルバー人材センターの会員募集を行う啓発コーナーと、お盆・菓子器などを販売する木工製品コーナーや手作りの服・バッグ・セーターなどを販売する3つのコーナーを設けました。

参加団体は、黒瀬町内の住民自治協議会や黒瀬高校、広島国際大学など23団体で、くれしん笑芸会のジャンボ衣笠さんによる落語会や、和太鼓クラブの演奏に中黒瀬小学校合唱部の合唱など、行事も盛りだくさんで、会場は多くの人で終日賑わっていました。

シルバー人材センターの看板を見た知り合いのお客さんに「こんなこともしょうってんですね」と、声を掛けられる会員もいました。

出店販売を通して、シルバー人材センターの活動を知ってもらうための啓発促進に資するよう、来年も引き続き参加したいと思います。



令和元年8月30日（金）、黒瀬生涯学習センターにおいて剪定作業に携わる37名の会員が安全研修会を受講しました。

安全対策委員会の宮原さんからヒヤリハット体験事例集に基づく危機意識の管理や、脚立メーカーによる安全研修資料を用いた作業中の危険についての講義が行われた後、3つのグループに分かれ、剪定班のリーダーによる脚立の安全な使い方を実践する研修が行われ、この研修で引き続き安全作業に徹する意識を再確認しました。





令和2年6月は記念すべき当センター設立30周年となります。

センター発展のため、地域との関わりの中での努力により育んできたその軌跡を振り返るとともに、更なるセンターの前進を図るための記念事業を開催いたします。

そのために実行委員会を設置し、具体的に協議準備する式典部会と広報部会を設け、10月25日に第1回実行委員会を、12月には各部会を開催し、令和2年11月3日の記念式典開催に向けて協議を進めています。

センター発展のため、実りある式典とするためにも皆様のご協力をお願いいたします。



令和元年10月11日（金）10時30分からRCCラジオ「ごぜん様さま」に当センター会員の山内正純さんが出演されました。放送の内容は、「ふれあい収集業務」と「シルバー人材センターの会員になって、わたしたちと一緒に働いてくれる仲間を募集する」といった話題で終始和やかにインタビューを受けておられました。

実際に働いている会員さんが出演されたことで、当センターの良いPRとなりました。



新任職員あいさつ



総務課主任
千木良 律子

昨年10月に本所の総務課主任として採用されました、千木良 律子（ちぎり りつこ）と申します。

平素から、シルバーパートナーの事業運営では大変お世話になり、有難うござります。日々センターに来られる会員の皆様からの挨拶と笑顔に元気をいただいております。私も、元気な挨拶と笑顔で皆様と関わっていかなければと思います。

これまで経理業務には従事してまいりましたが、気持ちを新たに、一から学ぶ気持ちで一つ一つの仕事に真摯に向き合い、取り組んでいきたいと思います。

シルバーパートナーに携わらせていただいて、こんなにも多くの会員の皆様が社会貢献と健康維持に努力されていると、いうことを知ることができました。

活気あるシルバーパートナーの一員として微力ではございますが、組織と会員の

皆様のますますの発展に貢献できるよう、誠心誠意努力して参りたいと思います。

皆様方のご指導を賜りますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。

皆様方のご指導を賜りますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。

私もそば打ち教室で修行して、自宅前にそば打ち道場を作り、休日にはそばに興味がある人が集まり、そばを打つて楽しんでいます。（そば粉は信州から取り寄せています）

会員の広場



(西条町)
荒谷 正信 会員

健康の秘訣



そばを湯がいて、そば湯を飲んで頭がすっきりした体験から20年間そば道場を継続しています。



(西条町)
中本 克己 会員

シルバーパートナーでは、庭園が好きなので剪定班に入らせていただきました。植木の剪定をしながら皆さんとの交流を楽しみ、身体を動かすのが健康の秘訣です（これまで風邪をひいたことがあります）。

趣味のそば打ちについては、河内町宇山の小学校が廃校になり、そば教室（さ

川辺りに 赤く乱れし 彼岸花 もみじ谷 風に吹かれて 舞う枯れ葉

シルバー派遣事業とは

シルバー派遣事業は「臨時的かつ短期的な就業またはその他の軽易な業務に係る就業」の基本原則を守りながら、請負や委任による就業ではできなかつた従業員と混在した働き方や指揮命令を伴う就業が派遣事業では可能となっています。

派遣就業を希望するセンターの会員は、派遣労働会員として登録しシルバーハン材センターとの労働契約に基づき就業します。

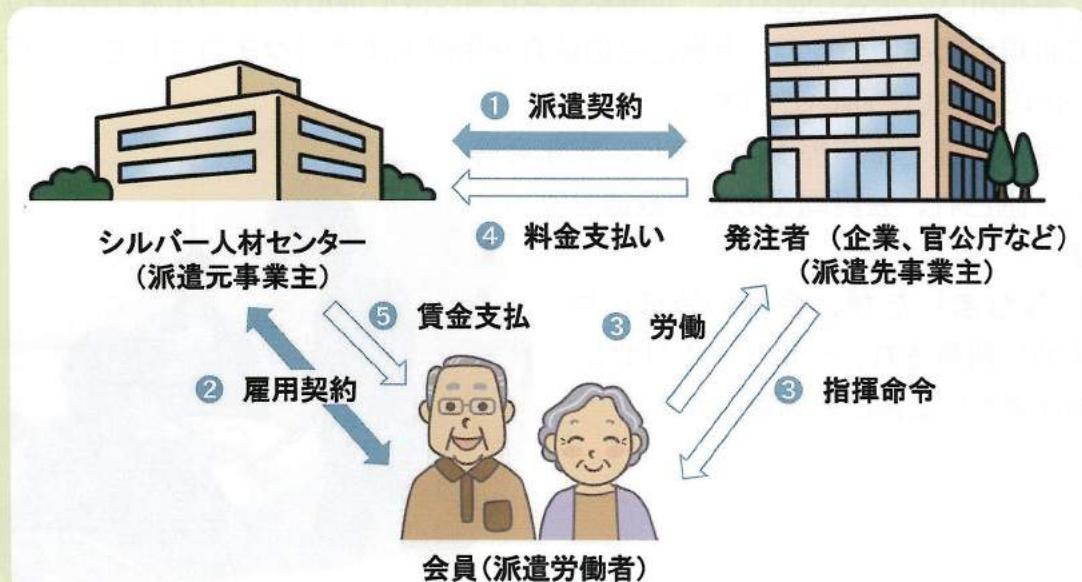
現在の当センターにおける派遣就業の範囲は「臨時的かつ短期的な就業（月10日程度）」または、「その他の軽易な業務にあたる就業（週20時間程度、月80時間以内）」となっています。

また、派遣就業は労災保険が適用されますが、社会保険（健康保険・厚生年金保険）及び雇用保険の適用はなく、労働の対価は賃金として支払われます。

加えて、6ヶ月を超えて継続して就労した場合、就業日数に応じて有給休暇が付与されます。これらにより、派遣就業は請負や委任による就業とは全く質の異なった働き方となっています。

- シルバーハン材センターが、発注者から業務を受注し、会員を発注者の事業所などに派遣する方法により業務を行う形態です。
- シルバーハン材センターは、発注者と労働者派遣契約、会員と雇用契約を締結して、会員を発注者の事業所などに派遣します。
- 会員が発注者の指揮命令を受けて働くことが目的となりますので、発注者は会員に指揮命令できます。

○ 発注者、シルバーハン材センター、会員の関係



(引用 厚生労働省 シルバーハン材センターの適正就業ガイドライン)



① 北部支所の紹介

北部支所は、一昨年11月15日から東広島市役所豊栄支所内の1階に事務所を移転、早いもので1年が経過いたしました。現在では、何とか落ち着いてまいりました。

移転の際は、発注者、会員、職員の皆様には大変お世話になりました。事務所が移動することになり、大変混乱されたことと思います。

さて、早速ですが、北部支所はどんな仕事をしているのか、ご存じない方がおられるのではないかと思いますので、簡単にご紹介させていただきます。

北部支所の管轄は豊栄町・河内町・福富町の3町です。

事務所は支所長と事務員の2名で担当していますが、他に役員で理事3名が所属しています。

日々の仕事内容ですが、発注者から草刈・伐採・剪定・除草・その他作業の依頼を受けた後、班長もしくは会員が現場へ行き金額を算定し、見積書を提出しています。

また、事務所への来客があれば、世間話を含め和気あいあいといろんなお話をしています。特に新規会員を増やす為、会員さんの紹介が頂けるよう「クチコミ」でシルバーは働きやすい旨の話をして頂いています。

また、会員主催で毎年恒例の泥落し、忘年会等の行事を企画され、会員同士の意思疎通を図っています。

最後になりましたが、会員の皆様には日々の体調に留意され、シルバー人材センターのお仕事をして頂ければ幸いです。



草刈作業（機械班）の紹介

現在、シルバー人材センターで請け負っている仕事のなかで、草刈と剪定は相当数にのぼります。

剪定と草刈の年間申込書を、毎年1月末にお客様に発送していますが、申し込み数は本所だけで1,300件もあります。現在剪定と草刈に従事する会員さんは98人いますが、ほとんどが70歳以上です。



シルバー人材センターでは、会員さんの負担軽減のために、自走式のハンマーナイフモアという草刈機を計4台購入しました。現在本所2台、南部支所1台、北部支所1台所有しています。この機械は、おもに休耕田の草刈作業に使用しています。傾斜のある方面などには使用できませんが、平面の草なら1.5m位の草丈のものでも楽に刈ることができます。

一般に使用されている刈払機の約5倍位のスピードで草刈することができます。現在本所では、主にこの機械を使用して草刈を行うグループを1班つくりました。団地の空地120区画位の草刈、3,000m²位の休耕田の草刈などに活躍しています。草刈の仕事に関心のある会員さんはぜひ、シルバー人材センターまでご連絡ください。

防災訓練に参加しました



令和元年8月23日（金）安芸津町のクレトイシ株式会社グラウンドにて、豪雨災害に備えた防災訓練が実施されました。当日、全体では56団体750名の参加者があり、当センターからは会員2名と職員2名が備蓄食料緊急輸送の訓練に参加しました。

防災訓練参加会員 中川 洋司（安芸津） 有田 時男（安芸津）

一緒に活躍する仲間を増やして会員100万人を目指そう！

シルバー人材センター・シルバー人材センター連合本部・全国シルバー人材センター事業協会では、会員100万人達成に向けた取組を実施しています。

当シルバー人材センターでは、お仕事の紹介はもちろんボランティア活動や講習会など様々な取組を実施しています。シルバー人材センターに入会し、こうした活動を通して多くの方と仲間になり、いきいき楽しく活動しませんか。

センター会員

- ・原則60歳以上で健康で働く意欲のある方
- ・入会説明会を受け当センターの趣旨に賛同される方
- ・入会申し込み書を提出される方
- ・定められた会費を納入される方
- ・東広島市に居住されている方



入会説明会

●日時：毎月 第3火曜日／午後2時から約2時間

●会場：シルバー人材センター・本所（西条栄町）・南部支所（黒瀬町）
・北部支所（豊栄町）



入会月により会費の軽減措置をしています。（入会初年度のみ）

入会月	会 費	保険料	計(円)
4月～9月	2,000	1,000	3,000
10月～12月	1,000	1,000	2,000
1月～3月	500	1,000	1,500

「仲間が増え健康増進・社会参加もできる組織」シルバー人材センターへご入会下さい。



企画・編集
総務部会（広報委員会）

opinion

新年明けましておめでとうございます。

今年は節目のセンター設立30周年になります。
その軌跡を振り返るとともに更なる前進に向けて30周年記念事業を実施いたします。

センターを取り巻く社会情勢は変化し続けていますが、会員入会促進等重点目標達成の努力をしてまいります。

これからもご支援ご協力賜りますようよろしくお願いいたします。